

KIMIOTO



君の音に耳を傾け、共に考える

長岡市障害者基幹相談支援センター通信 Vol.16 (2025.3)



「大雪」と言われるほどには我が家の周りには雪も積らず、二階から出入りすることもなく、雪だるまも、かまくらも作らず、春が来た。嬉しいな、もう春だ。まずは、タイヤ交換して、悠久山で桜を見て団子を食べ、帰ってお酒を飲む。そんな情景を春眠に、……見たのです。

「ひきこもり相談支援室」が開設されてもうすぐ1年

ひきこもり相談の専用窓口として、基幹センターの隣に「ひきこもり相談支援室」が開設されて11か月が経ちました。

学生生活につまづき、そのまま自室に籠っている若い方。氷河期の影響で就労できず、長期無就労の方。心身の不調をきっかけに、外出できずにいる方。などなど。

相談は様々ですが、ケースは日々増え続けています。

述べ対応 756件 (相談実数 94人)

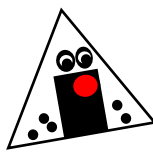
令和7年2月末現在



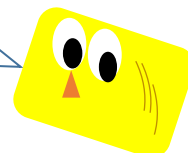
<ひきこもり相談支援室>

長岡市表町2-2-21 社会福祉センタートモシア2F

TEL 0258-86-0243 ✉ n-hss@city.nagaoka.lg.jp



ご相談はこちらまで





長岡市関原町1丁目3195番地 ☎0258-47-5138 📠0258-47-5139
職員体制:施設長 1名 サービス管理責任者 1名 生活支援員 9名 看護師 2名

Q.どんな事業所?

A.主に精神科病院を退院された方が地域生活に戻るための、訓練支援を行う施設です。
現在は自立訓練・宿泊型自立訓練に加え、生活介護や短期入所事業など、経験豊富な職員13名で運営しています。

Q.どんな支援をしているの?

A.社会生活力を身に付けるため、例えば「お金」や「健康」の管理など、日常生活の様々な訓練を行います。月1回のメンバーミーティングで色々話し合い、行き方やバス代などもご利用者自身で調べて外出を計画するなど、主体的に取り組んでいただいています。

Q.支援のやりがいは?

A.一朝一夕に成果が出るものではありませんが、根気強く支援する中で、ご本人が「こうやればうまくできるんだ!」と発見する、そんな瞬間に立ち会えることは喜びのひとつです。

Q.あなたのリフレッシュ方法は?

A.河田さん⇒よく寝る事。毎日のティータイム、週末のお酒も
井田さん⇒温泉でくつろぐ事。泉質など下調べして行きます
稲川施設長⇒気ままな一人旅。サバイバルに近いです



オイラも終電に乗り遅れて、たまにサバイバルするよ

それは野宿と言うのよ



～本誌をご活用ください～

研修会をPRしたい、事業所を紹介したいなど、ご要望は障害者基幹相談支援センターまで
長岡市表町2丁目2番地21(社会福祉センター トモシア2F)
0258-39-2362 0258-86-0220 (FAX) n-kikan-soudan@city.nagaoka.lg.jp

